

# 神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会【NO. 24-10】 2025年3月31日発行

横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900 FAX045-212-5745

## 高額療養費の負担上限引き上げ「白紙撤回署名」196筆提出!!

3月19日、医団連と中央社保協主催で、高額療養費負担引き上げは「凍結」ではなく「白紙撤回」を求める緊急集会を開催。60人が集まり、高額療養費引き上げ白紙撤回を求めて、国会前で声をあげました。神奈川からは、社保協・建設労連・民医連から6人参加しました。

神奈川で集めた196筆の「高額療養費引き上げ白紙撤回を求める厚労省宛団体署名」を提出しました（全体1455筆）。その後、県社保協に26筆届けられ、中央社保協に提出しました。

以下は、建設労連の曾我さんの報告です。



厚労省に団体署名提出する建設労連役員

政府は昨年末、高額療養費の自己負担上限額の大幅引上げを閣議決定しました。3年間かけて断続的に自己負担上限を引き上げるもので、たとえば年収650万～770万円の層では、負担限度額は現行の月8万100円から、最終的に13万8600円に引き上げられます。実に73%もの負担増です。高額療養費は、重篤な疾患を抱える患者さんの命綱の役割を果たしています。命の切り捨てとも言える政府案に、がん患者団体をはじめ、多くの国民から怒りの声が上がられました。その声を受け石破首相は3月7日、予定していた今年8月の引き上げの「見合わせ」を表明しました。

神建連でも引き上げの白紙撤回を求める署名を緊急で呼びかけ、157の組合・支部や青年部・主婦の会、組合員の署名を集めました。3月19日、国会前で集会が開催され、様々な団体や個人から、切実な訴えがされました。フリーライターの小泉なつみさんは、自らも大腸がんの経験があるとし、「高額療養費制度を削り、少子化財源に充てるやり方はグロテスク」と怒りをにじませました。各団体が集めた署名は厚労省の担当職員に手渡されました。職員は「私もすい臓がんになり、高額療養費制度の恩恵を受けた一人。この制度が残って欲しいと思っている。この署名しっかりと受け取って見させていたいただきたいと思う」と答え、参加者からは「ガンバレ」の声が上がりました。制度改悪を白紙撤回に追い込む運動を強めましょう。

## 3.19 神奈川国会行動に93人参加!!

3月19日午前中、建設労連、神奈川土建、民医連など15団体93人の参加で神奈川国会行動を実施しました。

志位和夫さん（日本共産党衆議院議員）が国会情勢報告。イスラエル軍が18日にパレスチナ・ガザ地区を大規模に攻撃したことを強く批判しました。その上で、自公政権が高額療養費上限引き上げの「凍結」に追い込まれ、さらには商品券配布問題が明るみに出たことを挙げて、自公政権の「延命路線」破綻がはっきりしたと強調しました。商品券配布に関しては、「政治活動であることは明瞭だ。首相の資格なし。内閣総辞職に追い込むために頑張りたい」と話しました。

集会では、福祉保育労の寺田さんが「福祉現場は人手不足がまん延し、高齢者施設の利用者が週1回しかお風呂に入れない状況。給料をあげてほしい。とにかく人手を増やしてほしい」と運動をすすめていると報告。参加団体から、切実な要求にもとづく取り組み報告が相次ぎました。その後、参加者で手分けして、地元国会議員や厚労委員会委員の議員事務所を訪問し、診療報酬・介護報酬の引き上げなど計8種類の要請書を届け、要請しました。

次回の神奈川国会行動は、4月9日（水）10時から衆議院第二議員会館多目的会議室で開催します。



署名を受取る志位和夫議員

# 「なくすな！保険証」伊勢佐木町宣伝、1時間弱で署名43筆!!

3月13日、なくすな保険証！神奈川県連絡会として、伊勢佐木町有隣堂前で宣伝・署名行動を実施。5団体16人参加し、チラシ・ポケットティッシュ600枚、署名43筆、「私のひとことカード」少々でした。

1月31日時点の「マイナンバーカード」の保有枚数は9695万1056枚で、人口対比77.6%。このうち、「マイナ保険証」登録件数は8153万414件（84.1%）。厚労省は、2月に医療への受診や薬局を利用する際、マイナ保険証を使った人は26.62%で、昨年12月からわずか1.2%しか伸びていないことを発表しました。2024年の年初から続いてきた利用率の上昇は止まり、いまだ従来（紙）の保険証を利用している人が7割以上もいます。一方で利用登録の解除申請も増加し、累計で6万8000件を超えています。

開業医の先生たちがそうした実情を踏まえて「健康保険証は残して」と訴えると、「マイナンバーカードは持ち歩きたくない」と言って署名していく人が何人もいました。若い人が署名する姿が目立ちました。

4月は、税と社会保障一体改革反対の全県宣伝行動です。消費税引き下げ署名とあわせて、新しい「従来の健康保険証を使い続けられるようにしてください」署名に取り組みます。県連絡会の次回の宣伝行動は、4月17日（木）14:00～伊勢佐木町有隣堂前です。多くの参加をお待ちしています。



## なくすな保険証連絡会と年金者組合の2つの陳情「不採択」!!

3月27日に横浜市で、後期高齢者医療神奈川県広域連合議会が開催されました。傍聴参加は、社保協などから20人。広域連合議会は、3月と8月の2回開催され、議員定数は20人です。

広域連合議会に、<陳情第1号>「従来の健康保険証の復活を求める意見書採択の陳情」（なくすな保険証！神奈川県連絡会）、<陳情第2号>「窓口負担2割化への軽減配慮措置の継続を求める意見書採択の陳情」（年金者組合神奈川県本部）の2本提出しました。

陳情は議会運営委員会で審議し本会議に回されます。議運は2つの陳情とも「不採択」としました。論議で強調されたのは、陳情第1号は「質の高い医療への効率化」「システム改修は終わっている」「資格確認書で補える」で、陳情第2号は「能力に応じた負担が必要」でした。

本会議では、みわ智恵美議員（横浜市・日本共産党）が、「世界に誇る日本の保健医療制度を維持継続させるためにも、陳情第1号が求めるこれまで信頼を築いてきた従来の紙の健康保険証を復活させるよう、国に意見書あげるべきです」と発言。陳情第2号については、「後期高齢者の命と生活を守るためには、直ちに窓口負担1割に戻すべきと考えますが、まずは当面の措置として窓口2割負担の方の『配慮措置』を本年9月30日以降も継続すべきと考えます」と、2つの陳情に賛成討論しました。しかし採択では、みわ智恵美議員以外の議員が不採択に賛成しました。本会議での発言は、みわ議員以外なく、2時間足らずで議会は終了しました。もっときちんとした論議をしてもらいたいと傍聴参加者全員が感じた議会でした。



### 後期高齢者医療 神奈川県広域連合議会

神奈川県広域連合議会の議員定数は20人で、2024年度は、横浜市7人、川崎市3人、横須賀市1人、相模原市1人、残り8人はブロック分け選出（2024年度は鎌倉市・三浦市・平塚市・南足柄市・厚木市・綾瀬市・二宮町・山北町）。会派別では、横浜市が自民2、公明2、立憲1、維新1、共産1。川崎市が自民1、みらい1、公明1。横須賀市、相模原市、ブロック選出は、議会の議長か副議長が多く、自民3、公明2、その他会派2、無所属3。1年で改選し、ほぼ全員入れ替わります。

# 介護報酬の再改定求める意見書、大磯町、二宮町、清川村で採択!!

3月議会で、大磯町、二宮町、清川村で介護報酬の再改定を求める意見書が採択されました。

清川村議会では、生協労連ユーコープ労組が「訪問介護報酬引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出の陳情」を提出し採択されました。清川村議会は、陳情を出してもこれまで「趣旨了承」ということが多かったのです。訪問介護事業所がゼロの自治体である清川村で陳情が採択され、意見書提出となったことは画期的です。

二宮町では、平塚地域社保協の陳情と、ほぼ同じ内容の「湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会」から提出した陳情が採択され、意見書が提出されました。大磯町は「湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会」の陳情が採択されました。

## 3.25 神奈川生存権裁判・東京高裁に 91 人傍聴参加!!

神奈川生存権裁判の控訴審第4回口頭弁論は、3月25日東京高裁101号法廷で開かれ、傍聴席満杯の1人が参加しました。法廷では、原告側弁護団が「弁論更新にあたっての意見陳述」を行いました。

「厚生労働大臣の判断につき裁量権の逸脱又は濫用があるか否かは、朝日訴訟最高裁判決（1967年）、堀木訴訟最高裁判決（1982年）、老齢加算訴訟最高裁判決（2012年）の判断枠組みが参照されてきているが、より進化した判断過程審査が求められる」とした上で、「要保護者の年齢別、性別、世帯構成別、所在地域別その他の保護の種類に応じて必要な事情を考慮する必要があると解釈するのが自然である」。「厚労省は、生活扶助相当消費者物価指数（CPI）を用いて算定したところ、マイナス4.78%の下落があったとして、その分保護基準を引き下げたと主張した」。「原判決は、そのことが厚生労働大臣の判断につき裁量権の逸脱又は濫用と断定し、生活保護費の引き下げは違法とした」と断じました。被告の厚生労働省は沈黙したままでした。

2月28日、松山地裁は生活保護費引下げ取消訴訟愛媛事案について、国の不当性を認める勝訴判決を出しました。地裁段階では、19勝11敗となりました。3月13日の大阪高裁（京都訴訟）は勝訴判決、福岡高裁（佐賀訴訟）は敗訴となりました。3月18日の札幌高裁、3月27日の東京高裁（東京はっさく訴訟）、3月28日の東京高裁（埼玉訴訟）は連続して勝訴を勝ち取り、高裁段階でも6勝4敗となりました。

今回の口頭弁論は、6月27日（金）14:00～です。東京高裁への公正な審理を求める署名の到達点は約7000筆です。署名目標1万筆達成に向け奮闘しましょう。



## 弾む対話「変化が生まれていると感じる」

## 消費税廃止各界連

消費税廃止神奈川県各界連絡会は3月24日、定例の宣伝を伊勢崎町で行いました。春らしい暖かな日差しがさす中、7団体から21人が参加し、署名で対話を広げました。

「低所得者ほど負担が重い消費税」の資料を示したことで対話が弾み、物価高から生活の苦しさを訴える方もいました。自転車で通りかかった50代の女性は、「消費税はなくしてほしい」と共感。「でも5%にすると財源は？」となり、法人税などを以前の税率にもどす必要があるなど話が広がりました。50代の男性は、「インボイスはよくない」と訴えていました。40代の女性は、軍事費が増額されていることを話すと、「はじめて聞きました」と驚いていました。「企業からお金をもらっているのはよい政策は作れないし、原発も再稼働されるわけですね。参院選挙は大切ですね」と感想を述べていました。また、60代の男性は、「高額療養費は止められた。変化が生まれていると感じる」と語っていました。



この宣伝では61人分の署名が集まり、ティッシュとチラシ400セット配布されました。

<消費税廃止各界連運動推進ニュースより>

# 5.9 第17回輝け！高齡期かながわのつどい in 鶴見

## 参加をすすめよう！！

「輝け！高齡期かながわのつどい」は、「ひとりぼっちの高齡者をなくそう！」を合言葉に2004年から、神奈川県内各地域で開催し、講演会や文化交流などを行っています。コロナ禍でいったん中断を余儀なくされていましたが、一昨年2月に川崎市、昨年7月に横浜市港南区で開催し、17回目となる今年は、5月9日に横浜市の鶴見公会堂で開催します。

今回は参議院選挙が行われることもあり、関西学院大学法学部教授の富田宏治さんに「希望ある政治をどう展望するか—『分断』に抗して『包摂』の政治を—」をテーマに記念講演をお願いしています。実行委員会による「高齡者人権宣言」の提起、文化行事や作品展示、補聴器と介護の分科会も予定しています。

高齡者が孤立しがちななかで、健康でその人らしく日々の生活を送れる社会の環境づくりが求められています。明日への活力となる集会にしたいと考えています。多くの方の参加をお待ちしています。

第17回 輝け！高齡期  
かながわのつどい in 鶴見

**平和と高齡者の人権を守るため、  
つながり語ろう！**

～連帯の力で分断・対立を乗り越えよう！～

<p><b>プログラム</b> 10:30～12:30 <small>(午前みの参加も可能です)</small></p> <p><b>記念講演</b> <b>富田宏治</b> とみだ こうじ 希望ある政治をどう展望するか —「分断」に抗して「包摂」の政治を—</p> <p><b>基調報告</b> 高齡者人権宣言</p> <p><b>プログラム</b> 13:30～15:10 <small>(午後みの参加も可能です)</small></p> <p><b>文化企画</b> ・フラダンス ・うたごえ合唱団他 <b>作品展示</b> ・絵手紙・水墨画他 <b>分科会</b> ①補聴器 ②介護</p>	 <p>1959年生まれ。名古屋大学法学部卒。関西学院大学法学部専任講師・助教授を経て1999年より教授。専攻は日本政治思想史。原水爆禁止世界大会起草委員長。全国革新懇代表世話人。</p>
<p><b>日時</b> 2025年 5月9日(金) 10:30～15:10</p> <p><b>場所</b> 鶴見公会堂 <small>(鶴見区豊岡町2-1) JR京浜東北線「鶴見駅」徒歩1分</small></p> <p><b>参加費</b> 500円 <small>個人の方は下記までfax等事前に 早めに申し込みをお願いします。</small></p>	

### 《4月の主な行動・会議日程》

- 4月 1日(火) 税と社会保障一体改革反対・全県一斉宣伝行動(4月中)  
県社保協医療保険改善委員会 10:00 神商連会議室+ (ZOOM)
- 4月 2日(水) 中央社保協運営委員会&介護障碍部会 10:30 医療労働会館+ (ZOOM)
- 4月 4日(金) 県社保協第10回常幹 14:00 建設プラザ3F 会議室+ (ZOOM)  
(なくすな保険証！神奈川県連絡会事務局団体会議)
- 4月 7日(月) 消費税ネット世話人&事務局会議 18:30 保険医協会会議室+ (ZOOM)
- 4月 8日(火) 全県一斉宣伝行動西湘地域キャラバン① 8:50 建設労連駐車場  
高齡期運動連絡会総会 14:00 年金者組合会議室
- 4月 9日(水) 神奈川国会行動 10:00 衆議院第二議員会館多目的会議室  
消費税廃止各界連運営委員会 15:00 神商連会議室+ (ZOOM)
- 4月 10日(木) 年金裁判勝利に向けた学習決起集会 14:00 かながわ労働プラザ
- 4月 11日(金) 県社保協第10回幹事会 14:00 保険医協会会議室+ (ZOOM)
- 4月 14日(月) 全県一斉宣伝行動・西湘地域キャラバン② 8:50 建設プラザ駐車場集合
- 4月 15日(火) 年金宣伝日
- 4月 16日(水) 生存権裁判を支える会幹事会 9:30 平和と労働会館3F 会議室+ (ZOOM)  
寒川町国保担当課との懇談 13:30 寒川町役場 (13:15 ロビー集合)  
建設アスベスト訴訟を支援する会総会 13:30 開港記念会館講堂
- 4月 17日(木) なくすな保険証！連絡会宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 4月 18日(木) 国民大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平和と労働会館4F 会議室+ (ZOOM)
- 4月 19日(土) 障神奈連25周年総会 14:00 かながわ県民センター301号室  
認知症のひとと家族の会神奈川県支部総会 14:00 横浜市健康福祉センター8F
- 4月 20日(日) 被ばく・終戦80年上映集会 13:30 建設プラザ2F ホール  
市民が創る横浜市政のつどい 13:30 横浜市健康福祉センター4F ホール
- 4月 24日(木) 消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 4月 27日(日) 茅ヶ崎社保協総会 13:30 茅ヶ崎民商会議室
- 5月 1日(月) 第95回メーデー(県・横浜) 10:00 沢渡公園(県内6ヶ所)
- 5月 3日(水) 5.3県民のつどい(憲法集会・神奈川) 13:00 横浜市港南公会堂ホール  
2024 憲法大集会(憲法集会・中央) 11:00 有明防災公園